



# 令和7（2025）年度 勸修小学校だより

～学力分析号～

京都市立勸修小学校

<学校教育目標> 互いを認め合い、すすんで

校長 中坂 健太郎

学び続ける児童生徒の育成

TEL 075-591-0003 FAX 075-591-0004

～みんなで作る「願い」をかなえる学校～



## 全国学力・学習状況調査の結果

6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が4月に行われ、その結果がこの度公表されました。

本調査は、国語科や算数科、理科のテストと同時に、家庭での過ごし方や児童の考え方を問う「児童質問紙」による調査も実施されております。生活習慣と学力の関係など、本校の子ども達の状況をお伝えします。

### 国語科より

本校児童の平均正答率は、65.0%でした。全国の平均正答率は、66.8%だったので、-1.8%の結果でした。

観点別に見ると、資料に書かれている事柄から必要な情報を選択し、設問に対して根拠をつけて記述するような問題に関して、全国正答率よりも高い結果がでました。普段の授業の中でも、自分の意見に対して根拠をつけて友達に説明する学習に取り組んでいることが多いので、今回の学力調査では、少しその成果が発揮されたと感じています。その反面、今回の結果では、文章の構成をとらえて事実と意見を分けるような問題に関して、全国正答率よりも低い結果でした。今後、多くの文章に触れる機会を増やし、内容を自分なりに説明したり解釈したりできるような活動に継続的に取り組みたいと考えています。

### 算数科より

本校児童の平均正答率は、51.0%でした。全国の平均正答率は、56.2%だったので、-5.2%の結果でした。

観点別に見ると、図形領域に関する問題や、グラフからデータを読み取るような問題に関して、全国正答率よりも高い結果がでました。授業の中で、友達とコミュニケーションをとりながら、具体物进行操作しながら学習することが多いので、自分の考えをアウトプットすることで、理解に結びついたのだと考えられます。その反面、算数用語を使って記述をする問題に関しては全国正答率よりも低い結果でした。今後、正しい算数用語を用いて、事象に関して、根拠をつけて記述する時間を増やし、少しずつ課題を克服していけたらと考えています。

### 理科より

本校児童の平均正答率は、55.0%でした。全国の平均正答率は、57.1%だったので、-2.1%の結果でした。

観点別に見ると、本校児童は、実験方法や観察方法を問われるような問題に関して、全国正答率よりも高い結果がでました。理科の学習では、友達と考えながら、実際に実験や観察を行い、相談しながら結果をまとめるような授業を進めることを意識しているため、その成果が発揮されたと感じています。課題としては、「実験結果から生じる新たな問題について考える」点でした。今後は、実験を学習としてとらえるだけではなく、日常生活と結び付けて考えられるような取組を増やしていくべきだと感じています。

### 児童質問紙より

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分より 少ない	全くしない
本校	16.3	16.3	11.6	25.6	14.0	16.3
京都府	13.6	12.4	25.8	27.2	13.7	7.0
全国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7

本校の児童は、この質問に対して、3時間以上・2時間以上3時間未満と答えた児童はともに 16.3%で、全国平均や京都府平均を上回っています。しかし、全くしないと回答した児童も 16.3%でした。家庭での学習習慣に差があることが考えられます。まずは、宿題から家庭で自ら学習する習慣をつけていくことが大切です。ご家庭でも声をかけていただければ幸いです。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない	話し合う活動を行っていない
本校	44.2	39.5	11.6	4.7	0.0
京都府	40.1	44.6	11.4	2.9	0.8
全国	40.9	44.0	11.5	2.7	0.8

本校の児童は、この質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が83.7%でした。ただ話し合うだけでなく、話し合うことで自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることはとても大切です。話し合うことでどのような変化があったのかを問いながら、また、自分の思いや考えを伝えやすい安心した雰囲気づくりにも取り組むことで、今後も児童のコミュニケーション力を伸ばす授業研究を進めていきます。

### 保護者の

### 皆さまへ

本校では、勸修中学校・小野小学校と学力情報を共有し、学習方法や個にあった指導について検討するなど、小中一貫教育に取り組んでいます。全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり課題を解決したりするためのものです。結果が学力のすべてを表しているわけではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていくことで定着するものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣が基盤となっています。